

俳句を楽しもう

葛巻俳句会 齋藤誠子さん



4月になり南向きの土手や山裾には次々とふきのとう（パツケ）、土筆、福寿草が頭をもたげ始めました。山峡の町にもやっと春が来ました。皆さんの家のまわりでも、はこべが小さな花を咲かせたり、木の芽の色とふくらみの変化を感じる頃ではないでしょうか。

〈春の季語から〉 四季の温度の感覚を春の「暖か」、夏の「暑し」、秋の「冷やか」、冬の「寒し」と季語で言い分けています。その中の「暖か」は、春の訪れを感覚的に言いとめた季語です。

あた、かに
白壁ならぶ 入江かな
正岡子規

暖かや
給の中から 桃太郎
川端茅舎

暖かや
背の子の言葉 聞きながし
中村汀女

4月後半になると、うららかな季節になりますね。

うららかや
猫にもものいふ 妻のこゑ
日野草城

麗かや
鼻反る牛の 顔の泥
原 月舟

それにしても春が来たと思う間もなく、一斉に花々が咲き、樹木が芽吹きます。一日ごとの色の変化に、驚きとともに自然に抱かれてわれわれは生きているのだと感じます。

〈春の植物〉
猫柳、まんさく、梅、紅梅、椿、桜、枝垂桜、山桜、こぶし、連ぎょう、すみれ、クローバー、たんぽぽ、土筆、杉菜、はこべ、いぬふぐり、タラの芽、わらび、ぜんまい、ふきのとう、よもぎ など

2月末から3月にかけて「広報の俳句係へ」というお便りをいただきました。自作の俳句を送っていただきましたので、早速お礼のお返事を書きました。次のお便りには広報の「俳句を楽しもう」の子どもたちの俳句の素晴らしさについて書いてあります。

このコーナーをご覧いただき俳句を身近に感じていただけたことが大変うれしいことでした。皆さまも感想や要望などありましたら、どうぞお便りをください。よろしくお願いいたします。

※参考 現代俳句歳時記より

新たな進路に向かって
葛巻高校で51人が卒業



菊池優校長から卒業証書を受け取る卒業生

県立葛巻高等学校の卒業証書授与式が3月1日、同校の体育館で行われ51人が新しい進路に向けて学舎を巣立ちました。式では、卒業生の名前が読み上げられ、菊池優校長から生徒一人一人に卒業証書が手渡されました。菊池校長は式辞で「地域の人とのつながり、絆を深め自分の役割をしっかりと果たせる人間になってほしい」とはなむけの言葉を贈りました。

在校生を代表して柳岡魁輝さん（2年）が送辞を、卒業生を代表して下屋鋪千恵美さん（3年）が答辞を述べました。今年度の卒業生も就職、進学とも100%を達成しました。

葛巻小アルミ缶回収で
葛葉荘へ車椅子を寄贈

葛巻小学校（嶽間澤均校長：児童141人）のエコ・ボランティア委員会の児童4人は3月15日、養護老人ホーム葛葉荘を訪れ車椅子1台を寄贈しました。

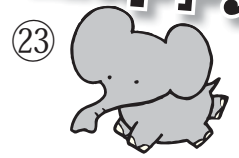
児童らは「8年間かかって集めました。やっとプレゼントできます。どうぞお使いください」とあいさつし手渡しました。入所している西田吉次さんからは、お礼として手書きの絵が児童に贈られました。

車椅子は平成17年から全校児童で毎週金曜日、アルミ缶回収に取り組み、その益金で購入したものです。今年度は、4トトラック1台分のアルミ缶を集めました。



記念撮影をする児童と入所者、施設関係者ら

Elephant happy



Dear Kuzumaki students,

From this April I will be moving on and I won't be able to teach you any more. I am sorry to say goodbye as it has been a real pleasure working with you all for the last few years. I feel really lucky to have worked with such hardworking, sincere and clever little people. Thank you all so much. I know learning a new language is hard and sometimes boring and frustrating but please never give up. You can do it. To all the teachers I have had the pleasure of working with thank you so very much I will never forget your kindness.

Thank you and goodbye.

親愛なる葛巻の生徒たちへ

この4月、私は引っ越します。そして、私はもはやあなたたちを教えることができません。この2、3年の間あなたたちみなさんと働くことが本当の喜びで、さよならを言うのは残念です。勤勉で、誠実で、賢みなさんたちと働いて本当に私はラッキーだったと思っています。本当にありがとう。新しい言語を学ぶことが難しく時々退屈でイライラさせましたが、みなさんは決してあきらめないということを、私は知っています。みなさんは、修得することができます。先生方と、私は働くことができたことに感謝し、私は皆さんの親切を決して忘れません。

ありがとう、そして、さようなら。



マラキさんが小児科外来へ本をプレゼント



マラキ・ブルム
(英語指導助手・34歳)



固い握手を交わす岩澤署長と鈴木町長

暴力団いない町目指し
岩手警察署と町が協定

岩手警察署（岩澤嘉彦署長）と町は3月19日、町の行政事務からの暴力団排除に関する協定書の調印式を町役場で行い、岩澤署長と鈴木町長がそれぞれ協定書に署名しました。

岩澤署長は「緊密に連携し、暴力団排除の徹底を強力に進めたい」とあいさつ。鈴木町長は「町民が安心して暮らせる町づくりへ大きく前進」と語りました。

この協定は、暴力団員や団員が役員を務める企業に公共工事の発注や助成金の給付を行わないよう、町が警察から情報提供を受けられるものです。